

本日の卓話

かわぐち市民パートナーステーション



所長 渡部浩一様



竹内 寿江様

<多文化共生について>

◎数で見る外国人の状況

川口市に居住する外国人は年々増加し続けており、県内では、政令市のさいたま市を抑えて最も多い住民数となっています。また、全国では、1位が新宿区 33,433 人、2位が大阪市生野区 29,549 人、3位が江戸川区 24,120 人、4位が足立区 23,135 人、5位が川口市 21,624 人、そして江東区 20,689 人の順となっています。

◎日本語および日本社会とのかかわり

地域の人たちとお互いにコミュニケーションができることが重要で、そのためには日本語の習得が必要となります。本市では、交流機会の提供や外国人住民からの相談に対して、国際交流員や外国人相談員を活用して多言語での簡易な生活相談を行い、日本語学習機会の充実や、外国人住民の自立を促進する仕組みづくりに努めています。また、町会・自治会をはじめとする地域コミュニティへの参加促進に努めています。

◎川口市におけるこれまでの取り組み

多言語情報誌「きゅうぼら」の発行（年3回）や「日本語スピーチコンテスト」・「外国人対象の防災訓練講習会」などを開催しています。また、外国人の子どもたちが高校に進学できるように支援するための「日本語を母語としない子どもと保護者のための高校進学相談会」は、教育現場の先生・通訳ボランティアとの連携によって行っており、多くの方が参加しています。

◆国籍別外国人数

1位中国(16,315人) 2位韓国(2,753人) 3位フィリピン(2,260人) 4位ベトナム(1,539人)

◆川口市地区別数

1位横曽根地区(8,000人) 2位芝地区 3位青木地区

◆外国人が川口市に住む理由は？

*交通が便利 *同じ国の知人が住んでいる *職場や学校に近い *知人・友人から紹介された *日本人の知人が住んでいる



川口市民パートナーステーション所長 渡部浩一様(右)
 多文化共生担当副主幹 竹内寿江様(中央)
 卓話をありがとうございます。

第 1942 回 3 月 2 日(水) 第 41 回創立記念夜間例会 江南春にて



チャーターメンバー 須田 清会員



ニコニコ報告

切通 勇次 記念例会おめでとう
 今村 勲 41周年おめでとうございます
 磯 利昭 例会久々出席させていただきます
 大杉 能弘 創立41年の記念すべき例会おめでとうございます
 須田 清 41周年おめでとう
 田中 一任 本日もよろしくお願い致します
 槇 孝夫 よろしくお祈りします

7口 9,000円 累計 631,000円

会員	出席	計算	MU	%
21	9	17		52.94

